2022 年度 教員アンケート

実施日:2023年1月~3月

対象者:369名(教授、准教授、講師、助教、病院講師)

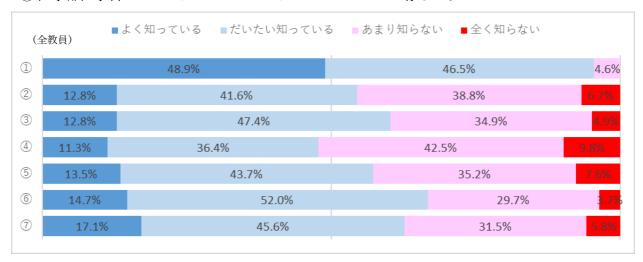
回答数:327名(回答率88.6%/基礎:97.5% 臨床:86.2%)

回答者内訳:

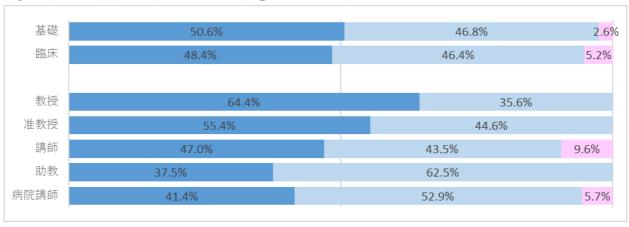
	教授	准教授	講師	助教	病院講師	
基礎医科学	15	18	18	24	2	77
						(23.5%)
臨床医科学	30	47	97	8	68	250
						(76.5%)
	45	65	115	32	70	
	(13.8%)	(19.9%)	(35.2%)	(9.8%)	(21.4%)	

1. 【使命、ポリシー等の認知度】

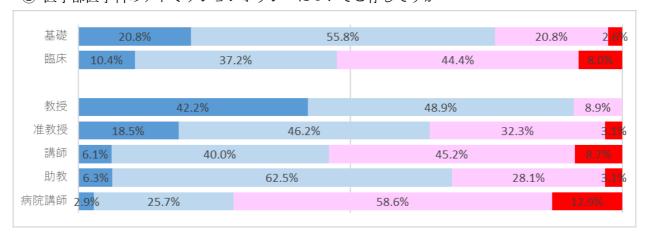
- ① 医学部医学科の使命である「智仁勇」についてご存じですか
- ② 医学部医学科のアドミッションポリシーについてご存じですか
- ③ 医学部医学科のカリキュラムポリシーについてご存じですか
- ④ 医学部医学科のディプロマポリシーについてご存じですか
- ⑤ 医学部医学科のマイルストーンについてご存じですか
- ⑥ 医学部医学科のカリキュラムロードマップについてご存じですか
- ⑦ 医学部医学科のコンピテンス・コンピテンシーについてご存じですか



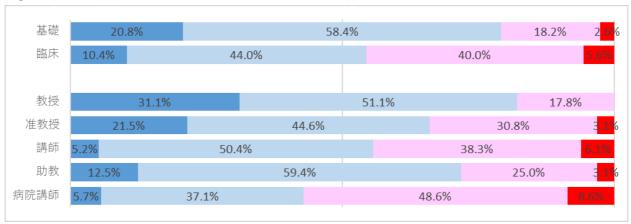
① 医学部医学科の使命である「智仁勇」についてご存じですか



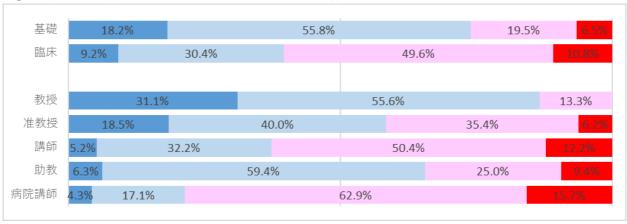
② 医学部医学科のアドミッションポリシーについてご存じですか



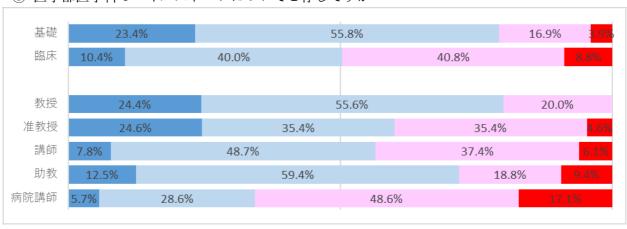
③ 医学部医学科のカリキュラムポリシーについてご存じですか



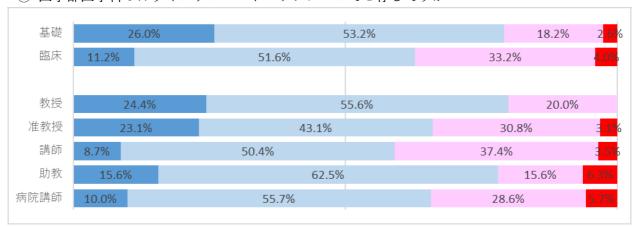
④ 医学部医学科のディプロマポリシーについてご存じですか



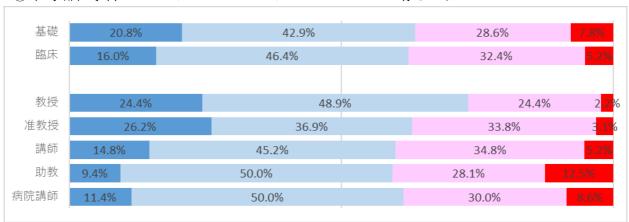
⑤ 医学部医学科のマイルストーンについてご存じですか



⑥ 医学部医学科のカリキュラムロードマップについてご存じですか

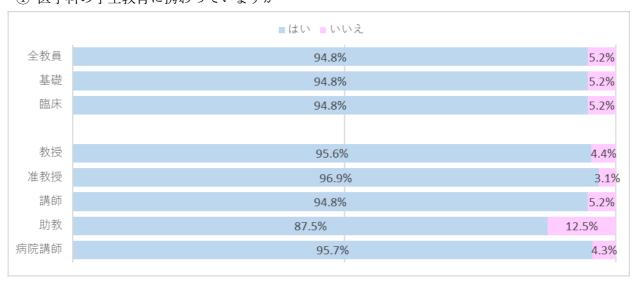


⑦ 医学部医学科のコンピテンス・コンピテンシーについてご存じですか

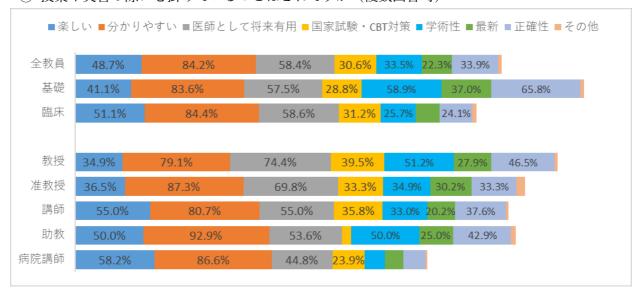


2. 【教育における意識】

① 医学科の学生教育に携わっていますか

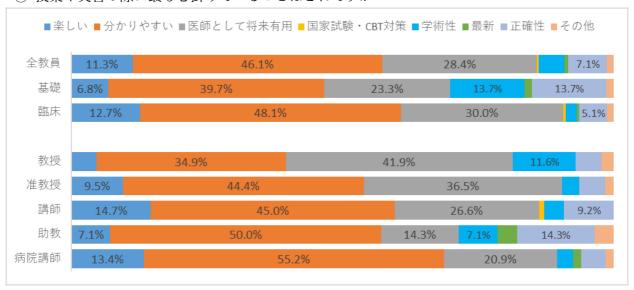


② 授業や実習の際に心掛けていることはどれですか (複数回答可)

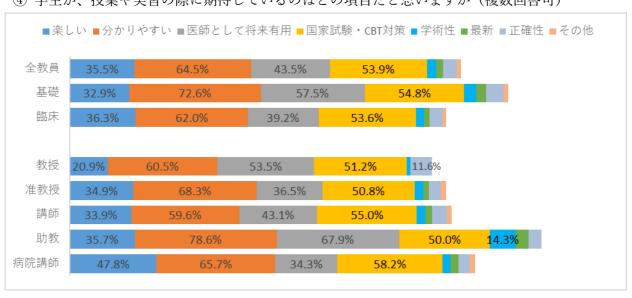


その他:必要最低限、驚き・新規性、科学へのいざない、異なった視点からの俯瞰、基礎と臨床を結びつけられるように、同級生の考えを共有できるように、記憶に残るように、興味を持たせる、勉強に対してモチベーションを持たせる(いわゆるやる気スイッチを入れる)

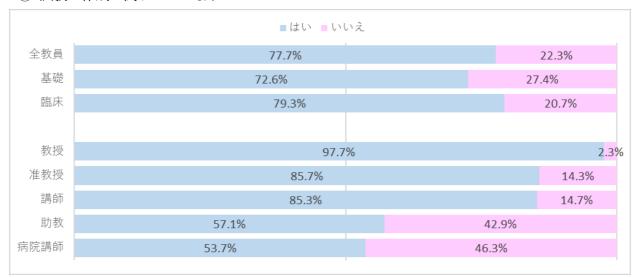
③ 授業や実習の際に最も心掛けていることはどれですか



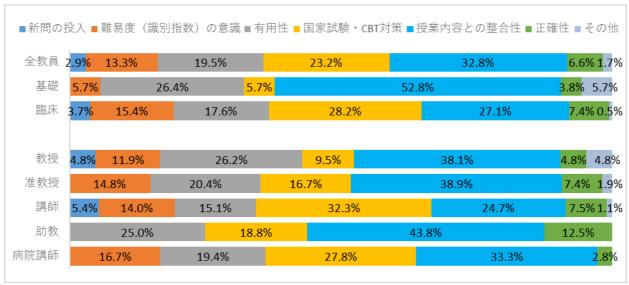
④ 学生が、授業や実習の際に期待しているのはどの項目だと思いますか(複数回答可)



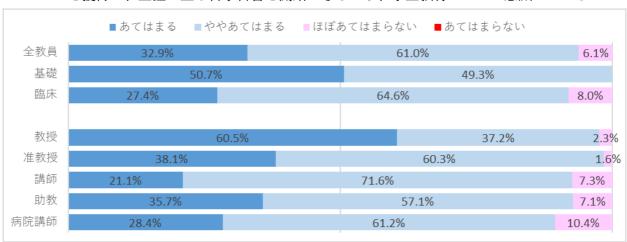
⑤ 試験の作成に関わっていますか



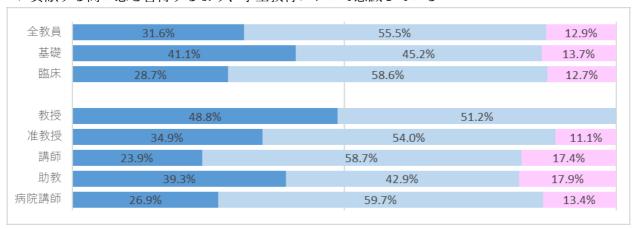
⑥ 試験作成で重要視する項目はどれですか



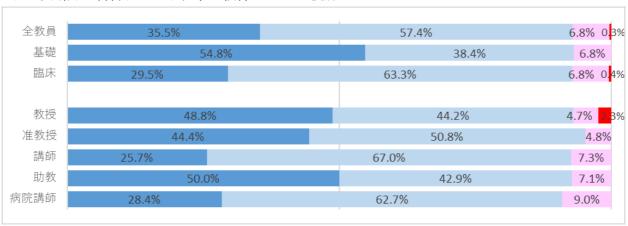
- 3. 【医学部医学科の使命である「智仁勇」に基づく、学生教育においての意識】
- ① 「智」、すなわち医学的知識と技能を修得することのみならず、効果的な学修のためのアルゴリズムを獲得し、生涯に亘る自学自習を開始できるよう、学生教育において意識している



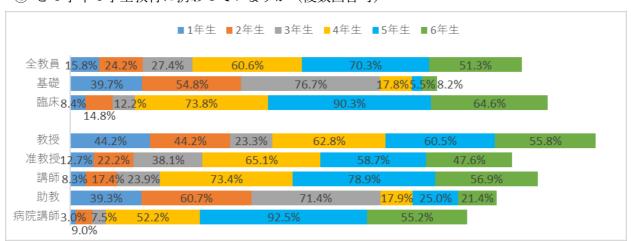
② 「仁」、すなわち人を分け隔てなく、温かく受け入れる心を身につけ、国際的視野を持ち、人類に貢献する高い志を習得するよう、学生教育において意識している



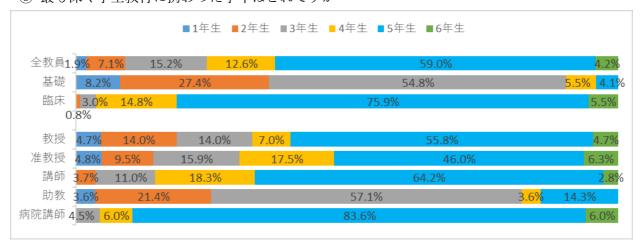
③ 「勇」、すなわち科学的思考に基づいた判断力・問題解決能力を身につけ、修得した医学を実践する決断力を習得するよう、学生教育において意識している



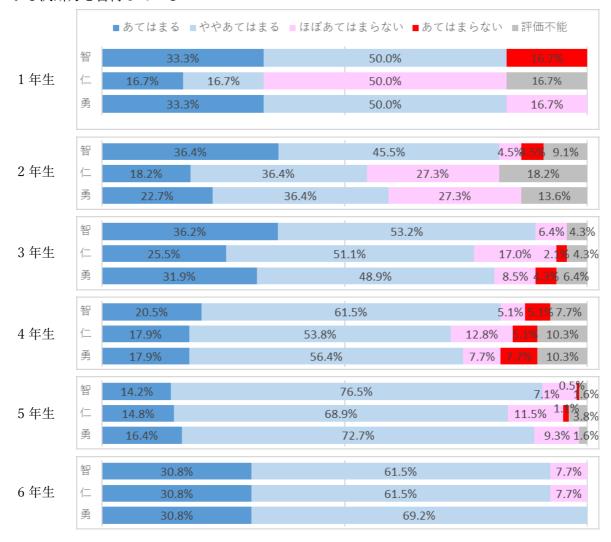
④ どの学年の学生教育に携わっていますか (複数回答可)



⑤ 最も深く学生教育に携わった学年はどれですか

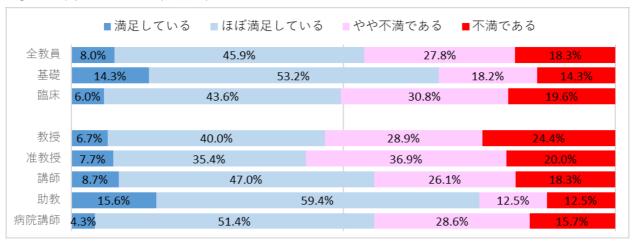


- ⑥ 最も深く携わった学生全体について、該当するものにチェックをつけてください
 - ・「智」すなわち医学的知識と技能を習得することのみならず、効果的な学修のためのアルゴリ ズムを獲得し、生涯にわたる自学自習を開始できる
 - ・「仁」すなわち人を分け隔てなく、温かく受け入れる心を身につけ、国際的視野を持ち、人類 に貢献する高い志を習得している
 - ・「勇」すなわち科学的思考に基づいた判断力・問題解決能力を身につけ、修得した医学を実践 する決断力を習得している



4. 【教育資源について】

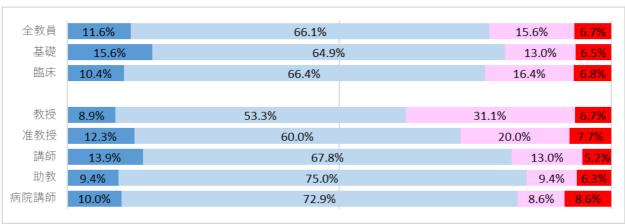
① 人的資源について(教員数)



(不満の内容)(複数回答のものを掲載)

- ・ 教員が不足している、教育に十分な人員を割けていない(60)
- ・ 教育に割ける時間が足りない(20)
- ・ 余裕がない、負担が大きい(6)
- ・ 臨床、教育、研究の両立の困難さ(6)
- ・ 教育に携わる意識のないまたは乏しい教員が多いため、負担が大きい(5)
- ・ 特定のスタッフに負担がかかる、教員負担の格差(担当講義数)を是正してほしい(4)
- ・ 特定の講座、診療科に負荷がかかっていると感じる(3)
- ・ 教育のエフォートに対するインセンティブが皆無である(3)
- ・ 医学研究者や実臨床家に学生教育者としての役割を分担させすぎである。学生教育の多くは専門教員が行うべきと考える(3)
- ・ 教育を手厚くする必要性や重要性は理解できるが、研究、臨床との時間的兼ね合いが難しい。 年々やるべき内容がそれぞれにおいて増えているため、人的資源が同じでは負担が大きくなっ てしまう(3)
- ・ 教員個人の努力に依存している(2)
- ・ 教育以外に求められる業務が多い(2)

② 物的資源について (設備等)



(不満の内容) (複数回答のものを掲載)

・ 学内、院内において、学生実習用のスペースが足りない(5)

③ 経済的資源について (予算等)

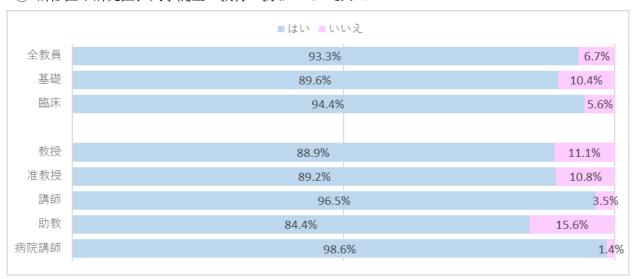
全教員	8.9%	61.8%		20.2%	9.2%
基礎	13.0%	57.1%		19.5%	10.4%
臨床	7.6%	63.2%	20.4%	8.8%	
教授	6.7%	55.6%		26.7%	11.1%
准教授	7.7%	53.8%		27.7%	10.8%
講師	11.3%	60.0%		20.0%	8.7%
助教	9.4%	65.6%	15.6%	9.4%	
病院講師	7.1%	74.3%	11.4% 7.1%		

(不満の内容)(複数回答のものを掲載)

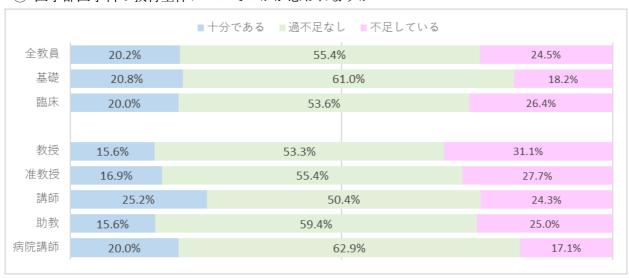
- ・ 給与、報酬における待遇(6)
- ・ 予算が限られている、教育備品、機材にもう少し予算を割いてほしい(6)
- ・ 学生実習にかかる予算が減少した、費用が教室負担になっている(3)

5.【教育全体について】

① 研修医や研究医、大学院生の教育に携わっていますか



② 医学部医学科の教育全体についていかが思われますか



- ③ 医学部医学科の教育について良い点は何ですか (複数回答のものを掲載)
 - · 屋根瓦式教育、Teaching is Learning(13)
 - ・ 臨床に即した教育、充実した臨床実習(9)
 - · SSC がある、シミュレーション教育が充実している(8)
 - ・ 基礎と臨床との連携が取れつつあり、垂直統合型教育が導入されつつある(6)
 - ・ カリキュラムが充実している(5)
 - ・ 実際の現場で学ぶことができる(5)
 - ・ 低学年のうちから医療現場への参入を促し、医師という仕事に対する意識を植え付けようとしている(5)
 - ・ 実践的な教育が行われている(4)
 - ・ 一貫したシームレスな教育(3)
 - ・ 医師としての形成に適している(3)
 - ・ 良医、良識を持った医師、智仁勇を持った医師を育てるという目的がはっきりしてる(3)
 - ・ 教員が常により良い教育を追究する向上心を持ち続けている、熱意がある(10)
 - ・ FD 講習会を通して、教育について考えている教員が増え、教育の工夫など共有することができる(4)
 - ・ 密に接して教育できる(3)
 - ・ 学生への面倒見がよい、手厚い(3)
 - ・ 将来立派な医師になるための礎を築く作業に関わられること、結果的に患者・家族、そして医療界に貢献することができる(5)
 - ・ 志の高いが学生が多いため、やりがいがある(2)
 - ・ 学生の資質が良い、基礎学力が高い(5)
 - ・ 学生の知識、技能レベルが上がっている(2)
 - ・ 学生の自主性を重視している(3)
 - ・ 優れた環境 優れた施設(2)
 - ・ 総合医学教育学の先生方が中心になって、リーダーシップを取って下さる(5)
 - ・ 大学のバックアップ体制(2)
 - ・ 学務課のサポートが手厚く柔軟である(2)
 - ・ このようなアンケートを取ってしっかり取り組もうとしている(2)
- ④ 医学部医学科の教育について改善点は何ですか(複数回答のものを掲載)
 - ・ 研究マインドの育成(10)
 - ・ 余裕がない、詰め込みすぎ(5)
 - ・ より実践的な教育・実習と環境整備(5)
 - 垂直統合(4)
 - ・ 医師養成の専門学校化が進んでおり、学問探究の場ではなくなっている(4)
 - ・ 日常的な英語の使用(講義、論文執筆、ガイドライン等)(3)

- ・ 学生がやる気を出させるような目的意識が芽生えるような取り組み(3)
- · 参加型·体験型教育(2)
- active learning の機会を増やすべき(2)
- ・ 国際的に活躍できる研究者を育てるという点で教育内容が不足している(2)
- 教員の負担軽減(27)
- ・ (教室や個人に対する)教育の評価について考えてもらいたい(9)
- ・ 教育専門の教員を確保すべき(4)
- ・ 積極性に欠ける部分がある(5)
- ・ 部門間、教員間の連携体制(2)
- ・ 教育内容・方法に対するアドバイス(2)
- ・ 特になし(9)

⑤ 教育についての業績が評価されていると思いますか



⑥ 教育に割く時間が確保されていると思いますか

